



「あたり前のことをあたり前にできる皆さんはすてきです。」

お早うございます。

辺りもすっかり秋から冬へと季節を移し始め、朝晩は風が冷たくて、思わず首がちぢこまってしまいますね。

さて、11月1日にたくさんのお客さんをお迎えし、創立80周年記念式を無事終らせることができました。

このお客さん方が、桃五小の5年生6年生の皆さんの一生懸命な態度、力を合わせて真面目に周年行事に取り組む様子、話しの聞き方、挨拶の仕方、素直な輝く目。そんなあたり前かもしれない皆さんのしぐさを、多くのお客さんが、「本当に素敵な子どもたちですね。思わず拍手がしたくなりました。」と、ほめてくださいました。桃五のみなさんの心のこもった呼びかけや歌声はたくさんの卒業生や地域の方々、ご近所の校長先生方、お父さんお母さん方の心を揺さぶったようです。

でも、私は「そうかなあ、確かにみんながんばっていたけれど、あんなのあたり前じゃないかなあ。」といつも見ている皆さんの様子をあたり前とっていました。

ところが、それがあたり前じゃなかったのです。いろいろな学校の行事や授業を見に行き、その学校の子どもの様子をたくさん見ていると、桃五の子たちの様子とはちょっと違うようなのです。何がちがうのか……。

桃五小に来てくださったお客さん方がおっしゃっていた、相手の目を見て聞く話のきき方やじっと動かずに話を聞く姿勢、挨拶の仕方や笑顔、ごくあたり前のことがほかの学校ではまた違うのです。あたり前があたり前じゃない気がしました。どっちがいいのかということではなくて、どの学校にも、「その学校のあたり前」があるのです。

そして、桃五のあたり前が80周年でたくさんのお客さまにほめられたのは、あたり前のことをあたり前に心をこめてすることができたからだと思うのです。その様子がたくさんの方々を誘い、心が震えたのでしょ。

身内身びいきかもしれませんが、一つの行事をみんなで創りあげよう、桃五小の誕生日を1年生から6年生までみんなで祝おうという気持ちひとつになって大きな力になっていたように思います。だからたくさんの方々が応援したくなるのだと思います。がんばりましたね。これからも、桃五小のあたり前、心をこめて気持ちを一つにどんなことにも精一杯がんばっていきたいですね。

桃五小のみなさんありがとう。

お話、終わります。

